



## 2023年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年9月13日  
東

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所  
 コード番号 6630 URL <https://www.ya-man.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330  
 四半期報告書提出予定日 2022年9月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年4月期第1四半期の連結業績(2022年5月1日~2022年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第1四半期	11,688	9.9	1,784	△39.1	2,104	△28.8	1,381	△31.7
2022年4月期第1四半期	10,639	21.5	2,929	75.8	2,955	85.7	2,021	110.2

(注) 包括利益 2023年4月期第1四半期 1,403百万円(△30.6%) 2022年4月期第1四半期 2,022百万円(110.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第1四半期	25.11	—
2022年4月期第1四半期	36.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第1四半期	33,493	23,139	69.1
2022年4月期	30,552	22,093	72.3

(参考) 自己資本 2023年4月期第1四半期 23,139百万円 2022年4月期 22,093百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	2.00	—	6.50	8.50
2023年4月期	—	—	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	4.25	—	4.25	8.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2022年4月期期末配当金の内訳 普通配当2円00銭、特別配当4円50銭

### 3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	5.2	4,400	12.1	4,200	2.2	2,909	4.1	52.89
通期	50,000	22.1	10,000	45.3	9,600	19.1	6,652	19.1	120.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年4月期1Q	58,348,880株	2022年4月期	58,348,880株
2023年4月期1Q	3,327,668株	2022年4月期	3,327,668株
2023年4月期1Q	55,021,212株	2022年4月期1Q	55,021,212株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2022年9月13日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大のリスクは残るものの、ウィズコロナのライフスタイルの確立とともに、緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、世界的な資源価格の高騰、急激な円安の進行、物価の上昇など、国内外における経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、2020年11月に公表した中期経営計画の集大成の期として、目標である「売上高500億円、営業利益率20%以上」の達成のために、さまざまな経営課題に対処しながら、通販・店販・直販・海外の各販路の最適化を目指してまいりました。

国内各販路は大きく売上を伸ばした前年同四半期に及ばなかったものの、中国における販売が引き続き好調を維持したことから、当第1四半期連結累計期間における売上高は11,688百万円(前年同四半期比9.9%増)と前年同四半期を上回りました。

利益面では、円安に伴う調達コストの上昇が原価を押し上げたこと、ヘアケア・シェーバーなどの新たなカテゴリに注力した広告宣伝活動や、研究開発、人材の確保・育成などの先行投資を積極的に行ったことから、経常利益は2,104百万円(前年同四半期比28.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,381百万円(前年同四半期比31.7%減)と前年同四半期に及びませんでした。

この円安基調は当面の間続くものと考えられるため、サプライチェーンを見直し、主要な製品については計画生産体制への移行により原価低減を図ってまいる計画です。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 通販部門

通販部門では、テレビ通販会社向けの販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売等を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、地上波テレビ通販が苦戦したため、売上高は1,345百万円(前年同四半期比16.3%減)、セグメント利益は483百万円(前年同四半期比34.9%減)となりました。

#### ② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、大手百貨店は回復基調にありましたが、家電量販店やメイクアップを取り扱うバラエティショップが客足の落ち込みの影響を受け、売上高は1,904百万円(前年同四半期比22.8%減)、セグメント利益は528百万円(前年同四半期比45.3%減)となりました。

第2四半期以降、家電量販店を中心に新カテゴリであるヘアケア・シェーバーの展開を拡大し、秋冬商戦での売上挽回を図ってまいる予定です。

#### ③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き、当社直販サイトやモールを中心としたECによる販売に注力いたしました。

EC比率は順調に伸長しましたが、効率を重視したことと、リピート商材への先行投資を強めたことから、売上高は2,608百万円(前年同四半期比16.4%減)、セグメント利益は1,243百万円(前年同四半期比32.7%減)となりました。

#### ④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、中国国内のECが6.18などのイベントを中心に非常に好調だったことから、売上高は5,809百万円（前年同四半期比84.5%増）、セグメント利益は2,290百万円（前年同四半期比107.2%増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,941百万円増加し、33,493百万円となりました。受取手形、売掛金及び契約資産の増加2,068百万円、未収入金の増加1,623百万円、商品及び製品の増加1,379百万円、現金及び預金の減少2,959百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,895百万円増加し、10,354百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加2,730百万円、未払法人税等の減少1,029百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,045百万円増加し、23,139百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,381百万円及び剰余金の配当357百万円による利益剰余金の増加1,023百万円が主な要因であります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降においても、引き続き広告宣伝・研究開発を中心とした投資を積極的に行って、各販路の売上の底上げと、新たな販路の開拓や新たなカテゴリの創出を図り、中期経営計画に掲げた「売上高500億円、営業利益率20%以上」の達成に向けて邁進してまいり所存です。

なお、2022年6月14日に公表した業績予想に変更はありませんが、今後修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,649,109	13,689,441
受取手形、売掛金及び契約資産	5,194,903	7,262,935
商品及び製品	2,887,195	4,266,396
仕掛品	45,227	60,545
原材料及び貯蔵品	1,186,405	1,840,368
未収入金	933,772	2,557,537
その他	1,011,026	1,320,489
貸倒引当金	△128	—
流動資産合計	27,907,512	30,997,713
固定資産		
有形固定資産	541,324	580,132
無形固定資産	624,268	586,920
投資その他の資産		
投資有価証券	300,000	300,000
関係会社株式	424,436	287,962
その他	754,631	740,890
投資その他の資産合計	1,479,067	1,328,853
固定資産合計	2,644,661	2,495,906
資産合計	30,552,173	33,493,620
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,870,634	4,601,404
1年内返済予定の長期借入金	624,000	624,000
未払金	2,225,917	2,257,174
未払法人税等	1,804,934	775,863
賞与引当金	80,092	42,167
その他	514,770	872,799
流動負債合計	7,120,349	9,173,409
固定負債		
長期借入金	1,330,000	1,174,000
その他	8,614	7,182
固定負債合計	1,338,614	1,181,182
負債合計	8,458,964	10,354,592
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,432,431	1,432,431
利益剰余金	21,678,982	22,702,680
自己株式	△2,887,118	△2,887,118
株主資本合計	22,038,091	23,061,789
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	55,117	77,238
その他の包括利益累計額合計	55,117	77,238
純資産合計	22,093,208	23,139,027
負債純資産合計	30,552,173	33,493,620

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)
売上高	10,639,958	11,688,001
売上原価	3,890,800	4,532,558
売上総利益	6,749,158	7,155,443
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,005,903	3,356,461
貸倒引当金繰入額	—	△136
給料及び手当	298,005	357,282
賞与引当金繰入額	38,514	42,167
減価償却費	47,078	56,982
研究開発費	106,248	129,790
その他	1,324,389	1,428,780
販売費及び一般管理費合計	3,820,140	5,371,328
営業利益	2,929,018	1,784,115
営業外収益		
受取利息	14	142
受取配当金	—	10,781
為替差益	30,902	460,826
その他	2,428	677
営業外収益合計	33,345	472,427
営業外費用		
支払利息	3,522	5,550
支払保証料	—	315
売上債権売却損	1,519	68
持分法による投資損失	1,457	146,036
その他	291	489
営業外費用合計	6,790	152,460
経常利益	2,955,572	2,104,081
特別損失		
固定資産除却損	7,169	—
特別損失合計	7,169	—
税金等調整前四半期純利益	2,948,403	2,104,081
法人税等	926,548	722,745
四半期純利益	2,021,854	1,381,335
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,021,854	1,381,335

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)
四半期純利益	2,021,854	1,381,335
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	626	13,227
持分法適用会社に対する持分相当額	99	8,892
その他の包括利益合計	725	22,120
四半期包括利益	2,022,580	1,403,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,022,580	1,403,456
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社の棚卸資産の評価方法は、従来、総平均法による原価法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間の期首より、移動平均法による原価法に変更しております。

この変更は、新基幹システムの構築を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、過去の連結会計年度について、移動平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高とみなして計算を行っております。

また、この会計方針の変更による影響額は、軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2021年5月1日至2021年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	1,608,175	2,466,786	3,120,152	3,148,223	10,343,338	296,620	10,639,958	—	10,639,958
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,608,175	2,466,786	3,120,152	3,148,223	10,343,338	296,620	10,639,958	—	10,639,958
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	9,724	9,724	△9,724	—
計	1,608,175	2,466,786	3,120,152	3,148,223	10,343,338	306,345	10,649,683	△9,724	10,639,958
セグメント利益	743,480	966,116	1,847,172	1,105,245	4,662,015	156,892	4,818,908	△1,889,889	2,929,018

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,889,889千円には、セグメント間取引消去10,437千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,898,696千円、未実現利益の消去△1,630千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自2022年5月1日至2022年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	1,345,434	1,904,502	2,608,379	5,809,586	11,667,903	20,098	11,688,001	—	11,688,001
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,345,434	1,904,502	2,608,379	5,809,586	11,667,903	20,098	11,688,001	—	11,688,001
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,345,434	1,904,502	2,608,379	5,809,586	11,667,903	20,098	11,688,001	—	11,688,001
セグメント利益	483,709	528,365	1,243,714	2,290,214	4,546,003	14,147	4,560,151	△2,776,036	1,784,115

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,776,036千円には、セグメント間取引消去7,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,763,251千円、未実現利益の消去△20,584千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。